

磐城時報

日刊 九廿夕
編輯部 石城郡平町新屋町十四
印刷部 石城郡平町新屋町十四
發行部 石城郡平町新屋町十四
電話 一四三三
廣告料 一行一四角 一月一元五角 三月四元 半年七元 一年十二元
印刷部 石城郡平町新屋町十四
電話 一四三三
廣告料 一行一四角 一月一元五角 三月四元 半年七元 一年十二元

平町議の改選

愈々明日に迫る

三十七名泣くも笑ふも 明日に秘められた運命

平町會議員の改選は愈々明日に迫つた。數句に亘つて火花を散らした激戦に疲れ切つて逐鹿場の各氏であらう。更に二十八日の三十六名は昨日から新たに仲間を加へ三十七名となり静かに最後の審判の日を待つてゐる。泣くも笑ふも明日に秘められた運命で大勢は既に決した観あり各候補者共嚴重熱心に守勢の態度を執つてゐる。絶對優勢を傳へられてゐる幸運の候補者は別として、當選確率は思ふもの未だ不安の空氣にこざされてゐる人々は

審判の俎上に上る 三十七名の候補者

- | | |
|--------|----------|
| 宇佐美友二郎 | 藥劑士 (中) |
| 野崎 滿藏 | 自動車業 (民) |
| 馬目 雅治 | 水販賣 (民) |
| 柳下 元吉 | 材木商 (民) |
| 吉田 寅之輔 | 織業 (民) |
| 石山 治三郎 | 建具商 (政) |
| 根本 品藏 | 米穀商 (中) |
| 吉村 安次郎 | 製綿業 (民) |
| 吉田 五平 | 材木商 (民) |
| 千葉 彦治 | 辯護士 (政) |
| 鈴木 光吉 | 教員 (政) |
| 佐藤 岩次郎 | 雜貨商 (民) |
| 荒川 淺次郎 | 建具商 (民) |
| 齋藤 敏實 | 肉商 (中) |
| 荒川 恒次郎 | 精米業 (政) |
| 花澤 五五六 | 農 (政) |
| 加納 五郎 | 會社員 (政) |
| 佐々木健一郎 | 請負業 (政) |
| 國府田直良 | 藝妓屋 (政) |
| 高橋 龜松 | 石炭商 (政) |

投票場に於ける 有権者の注意

平町役場で發表した投票場に於ける有権者の注意左の如し。町會議員總選挙に關する注意

三十日執行する町會議員總選挙は兼て告示の通り午前六時より午後七時迄元平商業學校内に於て執行するものにして有権者には豫め入場券を配付しあるを以て當日は此入場券を忘るゝ等の事なく受付係に之を示し係員の捺印を受け名簿對照所に於て到着番號札と引換へ其番號札を投票用紙交付所に差出し投票用紙を受取り投票記號所に至り被選挙人一人の氏名を記載し適當に之を折り選挙長の前に在る投票箱に投入するものとす。從來用紙を受取り直ちに到着番號札に被選挙人の氏名を記入し若しくは投票を投票箱に投入せずして場外に出でんとするもの又は出口に心付かず入口に戻らんとするもの等ありて場内整理に支障あるの例なきに非らず是等は入口と出口の區別及投票箱の所在を辨へ秩序を保ちて完全に選挙権を行使せんことを望む

小野氏得票 注目さる

二十八日に至り突如立候補した小野伊佐治氏が如何なる程度の投票を集めるかは各方面から非常な注意を惹いてゐるが、小野氏は他候補と同時に名乗りをあげて運動をすれば樂に當選点に達し得る程の人であるため或は意外な得票を見るではないかと察せられてゐる。

町議改選 投票時刻

平町會議員改選は三十日午前六時から午後七時迄元平商業學校内で行はれるが投票並に開票立會人は會川卯三郎、星野清吉、山野邊義政、眞木桓四氏である

幻兒を轢く 鈴木自動車

平町四丁目鈴木自動車部運轉手群馬縣佐波郡殖産村生れ石原二三(二七)は二十五日午後二時頃乗合自動車第五十二號を運轉し江名町から平町に來る途中於て道路で遊戯中の同町字柳町桂次郎二女三浦エヤ子(五七)を轢き倒し重傷を負はせたので平署で取調中である。

町會議員候補者 加納五郎氏を推

推薦者 平製氷親交會有志一同
責任者 馬 目 安 一
平町五丁目廿一番地

平町會議員候補者 千葉彦治氏

奮闘の士として最適任と認め推薦し極力その當選を期す
推薦者 平町 搔 龜 小路 清 吾

平町會議員候補者 齋藤敏實君

町會議員候補者として最適任と認め茲に推薦仕候 氏の仁俠に御共鳴の上貴下の尊き一票を賜はり度候
平町 八幡 小路 佐 藤 熊 太郎

大衆の味方として 佐々木健一郎君に

御投票を懇願致します
推薦者 搔 龜 小路 文 太郎

